

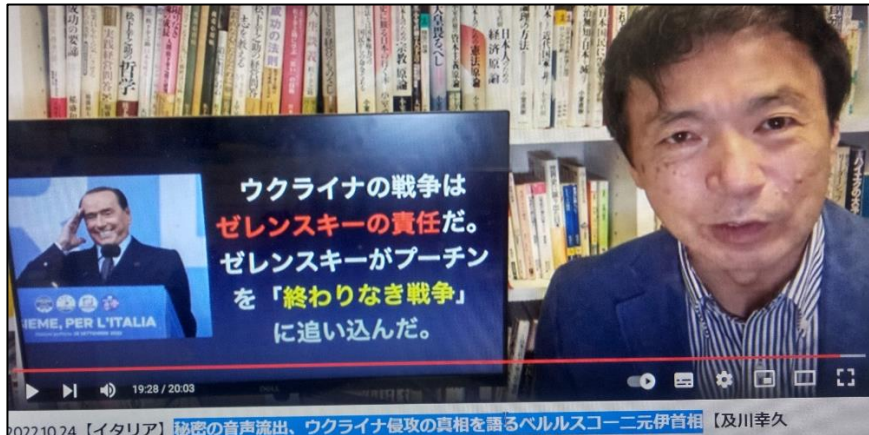
10月25日のウクライナ情報

安齋育郎

●ベルルスコーニがウクライナ戦争の原因はウクライナ政権にあると言った(及川幸久、2022年10月24日)

秘密の音声流出し、ウクライナ侵攻の真相をイタリアのベルルスコーニ元首相が漏らしてしまった。西側の重要政治指導者としては初めて、「ウクライナ戦争の原因はウクライナにある」と言った。

<https://www.youtube.com/watch?v=7nQ78JQyB00>



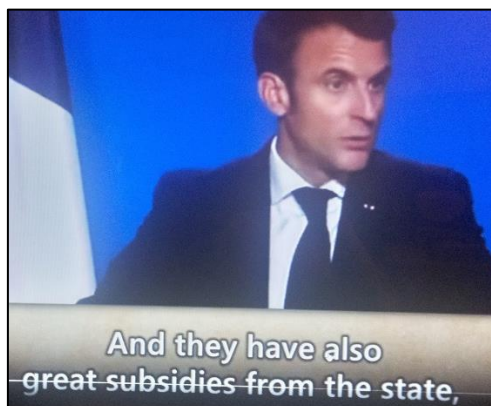
●ウクライナによるルハンスクの変電所攻撃(2022年10月23日)

ウクライナの武装勢力は LNR(ルハンスク人民共和国)のスタロバンスク近郊の変電所を HIMARS(ハーマース)で攻撃し、構造物の一部の機器が修理できないことが判明した。LNR のいくつかの地区では熱と電力の供給をこの変電所の稼働に頼っている。1 万人の加入者から電力供給を奪った。

●マクロン大統領がアメリカのエネルギー販売価格を不公平と批判(2022年10月23日)

マクロンは、アメリカは、国内販売価格より 3~4 倍高い値段でガスを欧州に販売していることをダブルスタンダードだと批判、「生産者である彼ら(米国)のエネルギーコストはとても低い、私たちが支払う金額よりも 3 倍も 4 倍も安く国内向けにガス売っているし、国からの補助金も多い」

<https://twitter.com/Tamama0306/status/1583792350287245313?t=6vHHmaOhz2PZKa oMm6w&s=09>

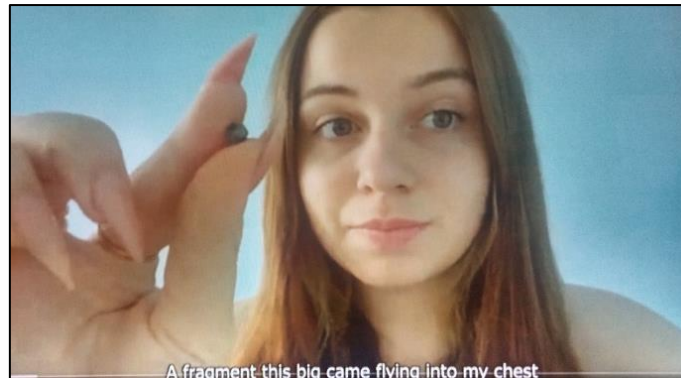


●ウクライナ軍が民間人を標的に(2022年10月23日)

ウクライナ軍がハイマース M30A1 クラスタ爆弾で、フェリーで避難する民間人を標的にした。ジャーナリスト 2 名を含む 4 人死亡、13 人負傷。

ジャーナリストの証言:「この破片が私の胸に当たり取り出してもらった。私はこの目で見た。軍人はいなかった。民間人だけで、街を離れて安全な場所に行こうとする人たちだけだった」。

https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1584053993587691520?t=apxx9nhj9SAyctaKvwwX9g&s=09



●ロシアのネベンジャ国連常駐代表のブチャ被害者リストの提出をウクライナに催促(2022年10月23日)

モスクワは、ウクライナがブチャで行なった偽旗作戦の犠牲者のリストをまだ待っている、とワシリー・ネベンジャ国連常駐代表は、ウクライナに関する国連安全保障理事会の会合で発言した。

※ロシアはずっと、ブチャの犠牲者のリストを要求しているが、ウクライナは提出していない。



●欧州のロシア人住宅でのイベント(2022年10月23日)

民間の対外援助および文化交流を担当している独立国家共同体・在外同胞・国際人道協力局(ロシア外務省所管の行政機関)が、欧州のロシア人住宅で「ロシアから温もりを」キャンペーンを行い、欧州の人達に温かいお茶を飲んでもらう機会を提供。

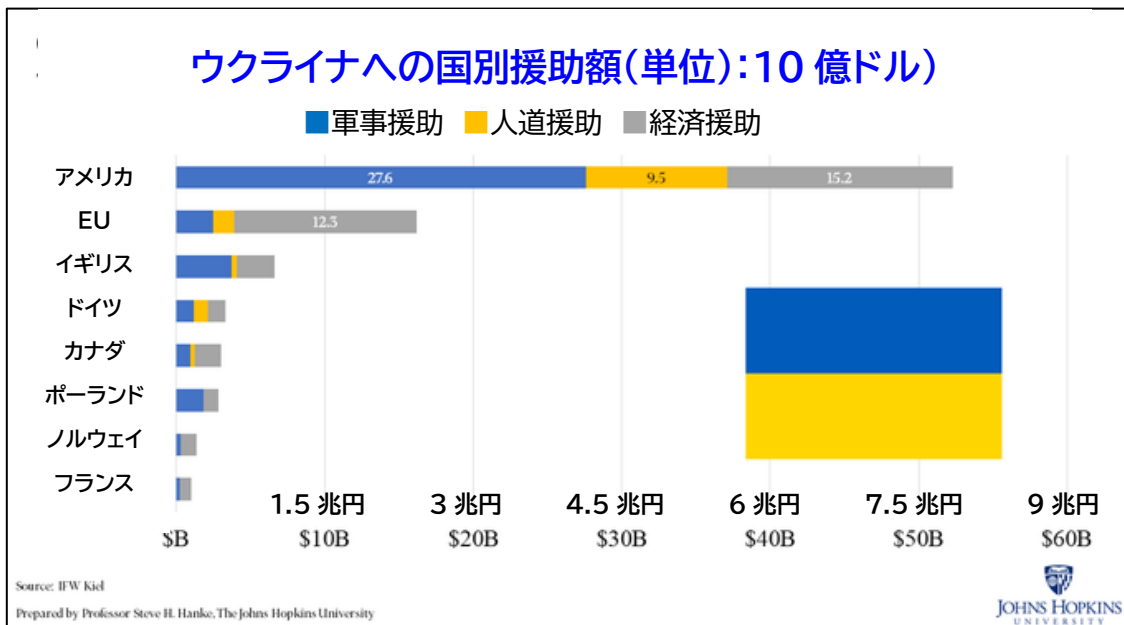
この映像はコペンハーゲンのロシアンハウスだという。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1584008114516336640?t=P8y5zIunxEmgk7PZ--xQAw&s=09>



●ウクライナへの支援額国別グラフ(2022年10月23日)

ジョンズ ホプキンス大学教授のツイートに、同大学がまとめたウクライナへの援助総額のグラフがあった。投稿者弁「しゃかりきになるところはどの国なのかが分かりやすい」。(日本語訳:安齋)



●天然ガス価格に上限を設ける(ウォール・ストリート・ジャーナル、2022年10月23日)

ジョンズ ホプキンス大学の応用経済学スティーブ・ハンケ教授

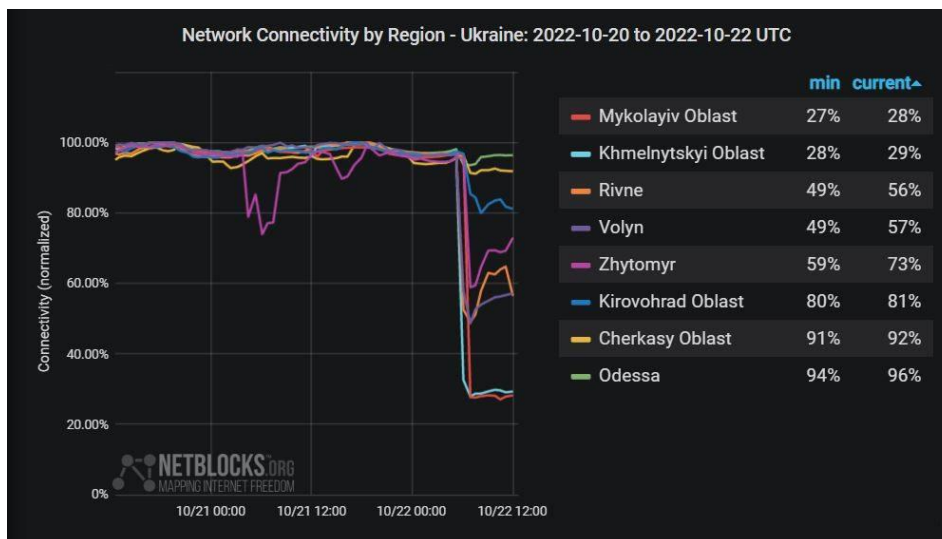
[EUの首脳は、エネルギー危機の解決策を探るため、今月2回目の会合を開いた。その結論は、天然ガス価格に上限を設けるといったものだった。ブリュッセルのブローカーは、次から次へと悪いアイデアばかりを出す。]

※安齋注:ロシアは「買ってくれる国は他にもあるので、上限を設定するような国には売らない」って言った気がします。



●ウクライナのネット軍、失速(2022年10月23日)

ウクライナの多くの地域で、「ネット軍隊」は離脱している模様です。投稿者弁:「少し寂しいとの声がロシアのネット軍から聞こえ始めてます」。



※安齋注:「ネット軍」とは、1日1億人が閲覧しているウクライナのデジタル転換省がつくった「インターネット・アーミー」と呼ばれる組織で、ボランティア30万人が参加している。SNS(交流サイト)などを駆使して不特定多数の人に情報発信している。

●オーストラリアで中立を求める行進(2022年10月22日)

「ゼレンスキーは反キリスト」「ネオナチのテロリストにこれ以上お金をばら撒くな」「ロシアは敵じゃない」

<https://twitter.com/Tamama0306/status/1583788709325201409?t=bB6uuiM--9Ad5rss0vf4oA&s=09>



●ウクライナ兵捕虜の証言(2022年10月23日)

アゾフ連隊司令官デニス・プロコペンコ(レディス)は部下に民間人を殺すよう命じた。部下の一人だったウクライナ兵捕虜ヴィタリー・カトラニチは「マリウポリには(ロシア兵)しか残っていない、民間人は残っていないから、みんな殺せと言われた」と語った。(日本語字幕なし)

https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1584091008312090624?t=yRQRO0lVqCJ2oN1n0YcUQ&s=09



●作戦に出る時は覚せい剤服用(2022年10月23日)

ウクライナ兵捕虜ヴィタリー・カトラーニチ、マリイカ近郊の偵察中隊長は、ウクライナ兵士の陽気さの秘密についてこう語った。

「大体、酒を飲んでた。薬？まあ、破壊工作班が作戦に出るときに飲んでいました。アンフェタミン(覚醒剤)だ。2、3日起きているために」

●アメリカのミリーズ将軍の発言(2022年10月23日)

もしまだアメリカが「民主主義」を守るためにウクライナの代理戦争に資金を提供していると考えているなら、ミリーズ将軍の最近の発言を聞いてほしい。

「ウクライナでのロシアとの戦いは、ルールに基づく秩序を守るためだ」。ルールに基づく秩序とは、アメリカの覇権主義に歯止めがかからないことを意味する。(日本語字幕なし)

<https://twitter.com/syuugoro2/status/1584135050685075457?t=IEizAWgwgwAELqJEGNf7pVQ&s=09>



画面右側の「三本の矢」が面白い。

●ウクライナ「100 万人超に電力なし」 ロシア軍がインフラ攻撃(毎日新聞、2022年10月23日)

ロシア軍は10月22日、ウクライナ各地のエネルギー関連施設など十数カ所のインフラをミサイル攻撃し、広範な地域で電力供給が停止した。ロイター通信などが報じた。ロシア軍による攻撃は22日早朝から始まり、首都キーウ(キエフ)でも一部地域で同日夕まで停電が続いた。南部ミコライウでも数時間にわたり停電し、携帯電話がつかなくなかった。

ウクライナのティモシエンコ大統領府副長官は22日午後、西部フメリニツキーの67万2000人など、全国で100万人以上が電力供給を受けられない状態になったと明かした。

ウクライナ空軍によると、22日に撃ち込まれたミサイルは33発で、うち18発を撃破したという。

ウクライナのゼレンスキー大統領は 22 日、ビデオ演説で「今回の大規模攻撃は、広範な地域にわたった」と述べたうえで、「ロシアのミサイルやドローンを 100%撃墜する技術的な能力はないが、パートナーの国々の支援で次第に改善しており、ミサイルやドローンの大多数を撃ち落としている」と語った。

一方、ウクライナのポドリャク大統領府長官顧問は 22 日、ツイッターに「ロシアは重要インフラへの攻撃によって、欧州への移民を生み出そうとしている」との見立てを投稿。「プーチン大統領がこれを実行できるかどうかは、欧州の首脳にかかっている。人道的被害を止める唯一の方法は、防空システムと追加の(迎撃)ミサイルの早急な供与だ」とさらなる支援を訴えた。【ブリュッセル宮川裕章】



停電したカフェでレモネードを飲む男性

●「プーチンは戦争に負けているのか？」についてのスコット・リッターノコメント (Alzhacker、2022年10月22日)

「現状では、いや、彼がこの戦争に負ける可能性はない。ウクライナ政府は勝ち目のない状況にある。経済は崩壊し、通貨は暴落し、軍隊は破壊され、NATO は結束を失い、援軍はない。そして、ロシアはますます強くなっている」(日本語字幕なし)

<https://twitter.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1583750686948265985?s=20&t=tq 9 iZwtAcT64A0vPJVmg>



●ロシアの第2次インフラ攻撃(2022年10月22日)

10 月 22 日、ロシア軍はウクライナの重要インフラ攻撃を強化。ウクライナ全土に空襲警報が再び鳴り響く。キーウ、ヴォリン、オデッサ、ドチェルニーヒウなどの地域の火力発電所に高精度の攻撃が行われた。これは 10 月 10-11 日のインフラ爆撃の第二次攻撃で、停電はじめ全土で影響がでている



●「私に待ち受けているのは銃殺刑だけだ」(2022年10月22日)

ハリコフ州の避難民:「ロシアの人道支援を受けた現地の民間人が処刑されている」と語る。

<https://twitter.com/nanpinQD/status/1583746176201129984?t=nrqDckMgL3YKXOehqr0QwA&s=09>



●オーストラリアでウクライ政策変更迫るデモ(2022年10月23日)

オーストラリアの多くの都市で、ロシアを支援する行進が行われました。

地元の活動家たちは、ロシアの旗を掲げて街頭に繰り出し、ウクライナ情勢に関するオーストラリアの政策を変更するよう要求しました。

<https://twitter.com/nanpinQD/status/1583843530128363520?t=1Ja1zvtDypak55AvrfmWpQ&s=09>



●アメリカの空挺部隊、ウクライナ近くに配備(2022年10月23日)

アメリカ陸軍の 101 空挺部隊は、ウクライナの国境からわずか数キロの場所でロシアとの戦争に備えて演習している

米陸軍第 101 空挺師団が約 80 年ぶりにヨーロッパに配備された

この軽歩兵部隊は、世界中のどの戦場にも数時間以内に展開し、戦えるように訓練されている

<https://www.cbsnews.com/video/101st-airborne-division-deployed-to-europe-to-bolster-nato/>



●サルコジ元フランス大統領の批判(2022年10月23日)

フランスのサルコジ元大統領は、ウクライナ紛争へのアプローチにおいて、EU はその権限を超えた決定を下していると述べた。

「フォン・デア・ライエンは、欧州協定のどの条文に基づいて武器調達や外交政策の問題について自分の能力を考えているのか、私にはどう考えても理解できない..

欧州の人々が今聞いているのは、武器調達のための新しい 10 億ドルの話だけだ。武器が増えるという事は、それだけ死者が増えるということだ」と述べた。

サルコジはウクライナ紛争に関する欧州の路線は「刺激」に依存し過ぎていると考えている。従って彼の言葉を借りれば EU 諸国は「火山の縁で踊っている」のである。



●ウクライナがハリコフ地方で民間砲撃を計画(2022年10月24日)

[モスクワ・10 月 24 日]ロシア国防省は、「キエフがロシア軍が民間人を殺害したと非難するため、月曜日にハリコフ地方で傭兵による民間人への砲撃という挑発行為を行う準備をしている」と述べた。

キエフ政権は、ロシア連邦の戦争犯罪を非難するために、自国民の死を伴う流血の挑発を準備している」。今年 10 月 24 日、ハリコフ州ヴォルチャンスク市で、外国人傭兵部隊による住民への食糧援助配布の際、市民が集まる場所に大砲を発射する」と発表した。

この攻撃は、ロシア軍の信用を失墜させ、ロシアが民間人を殺害したと非難するために、キエフ政権が計画したものであると指摘されている。

●ロシア産のカニが大量に日本へ(2022年10月24日)

制裁により、アメリカ市場で扱うカニが、ロシア産からカナダ産へ。ロシア産カニの価格が下がり、日本が安く購入。しかもロシア産製品はカナダ産のものより品質が良く、輸送がより容易。

制裁発動中であるにもかかわらず、ロシア産のタラバガニとすり身が日本に大量に運ばれている。

